

令和2年 第7回 教育委員会会議録	
1. 開会日時	令和2年8月21日(金) 午後2時00分
2. 場所	峰行政サービスセンター 2階 第4会議室
3. 出席委員	吉野委員、佐伯委員、一宮委員 (欠席 斉藤委員)
4. 出席者	永留教育長、阿比留教育部長、八島次長兼教育総務課長、吉野学校教育課長、庄司生涯学習課長 川辺文化財課長
5. 会議書記	扇課長補佐
6. 閉会日時	令和2年8月21日(金) 午後3時40分
7. 議 事	
日程第 1	会議録署名委員の指名
日程第 2	会期日程の決定
日程第 3	教育長諸報告
日程第 4	議案第20号 令和3年度中学校教科用図書の採択について
日程第 5	議案第21号 対馬市立学校体育施設等の開放に関する規則の一部を改正する規則について
日程第 6	報告第11号 教育委員会の点検・評価報告書について
日程第 7	報告第12号 要保護及び準要保護児童生徒の認定取消について
日程第 8	その他

永留教育長	<p>こんにちは。ただいまから令和2年第7回対馬市教育委員会会議を開会いたします。これから本日の会議を開きます。議事の進行につきましては、対馬市教育委員会会議規則等により進めたいと思います。</p> <p>では、日程第1「会議録署名委員の指名」を行います。今回の会議録署名委員は、佐伯委員さん及び一宮委員さんを指名します。よろしくをお願いします。</p> <p>続きまして、日程第2「会議日程の決定」であります。お諮りします。本会議の会期は本日一日にしたいと思っております。これにご異議ありませんか。</p>
会場	「異議なし」の声。
永留教育長	<p>「異議なし」のようです。したがって、会期は本日8月21日の一日といたします。会議運営につきましてはご協力をお願いいたします。</p> <p>次に、日程第3「教育長諸報告」を行います。資料の2ページをお願いします。</p> <p>7月末の教育委員会会議が中止となりましたので、約2カ月分の諸報告となります。</p> <p>6月30日、ここには記載をしておりませんが、紹介のために報告をしておきますが、出向辞令を交付いたしました。教育委員会部局から市長部局への出向で、生涯学習課の職員が依願退職をされております。よって、現在、生涯学習課の方は1名減で業務を遂行しているところです。</p> <p>それから、7月6日に文科副大臣が来島をされました。吉野課長と定例教頭会を欠席して、この文科副大臣の来島に対応をしております。午前中は、巖原北小学校でタブレットによる遠隔授業の参観をした後、校長によるICT教育の取組の説明をしていただきました。午後は、博物館視察を終えた後、万松院を視察し、最後に市長、副市長、教育長との懇談を行いました。その懇談を行った中で、文科省への要望書を提出しております。中身は、小・中への1人1台端末配付という文科省のGIGAスクール構想に関して、対馬市はこのGIGAスクール構想の補助金を受けることが難しい状況ですので、それにかわる補助を要望いたしました。</p> <p>それから、7月13日に令和2年度第1回目の教育支援委員会を開いております。中身といたしましては、就学事務の流れの確認、それから令和2年度から入級した児童生徒の適応状況を確認いたしました。</p>

それから、16日に県立学校改革推進室から来庁がありましたけれども、これは令和3年度から令和12年までの10年間、県立高校改革の基本方針が、今、策定されておまして、その説明を受けました。主な内容は、対馬に限らず長崎県下全域にわたって生徒が減少をしておりますので、それに伴う学校規模の見直し等についてが主な内容でした。対馬市におきましては、これまでと同じ方向で一応考えていただいているようですが、生徒減少が進むとどうなるかっていう不安を抱えております。

それから、24日に越高遺跡調査検討委員会を行いました。これは、昨年度に委員会を立ち上げて2回目の委員会の開催となりました。越高遺跡が滅失の危機にあるということで、その保護をどうしていけばいいか。また、県・国指定を目指していく準備を進めていくということでご意見をいただいております。

次のページをお願いします。中学生陸上競技記録会とありますが、これは、この記録会は24日と25日に行われまして、私は25日に参加をしております。これは市の中大会陸上競技大会がコロナの関係で中止となりましたので、それに代わるものとして対馬市陸協が主催となって開催をしていただきました。

それから、27日に県教委の特別支援教育課から参事が来庁をしております。今年度から、この県の特別支援教育課の参事となられた方は、以前、対馬に勤務をしてあった方です。対馬市でも今、特別支援学校の小学部・中学部の設置要望が上がっておりますので、その設置に向けて相談をさせていただきました。

7月29日に対馬で初めて感染者が出まして、この日に感染症対策本部会議を実施しております。

それから、30日に午後から市長協議を行いましたけれども、この中身は皆さんにも関係があるんですが、令和3年1月3日に実施します成人式のあり方について協議を行いました。まだ今のところ未公表ですけども、今度の令和3年1月3日に実施する成人式は3会場で分散開催を行うという方向で進んでおります。そして、来賓等の招待もしないということですので、教育委員さん方には昨年まで参加をいただいておりますけれども、今回は参加はなしということです。

それから、31日に対馬盆踊保存連合会結成総会を開いております。盆踊りの保存に向けて、現在活動してある地区が5地区あるわけですけども、その中の4地区に参加をいただきまして連合会を結成

	<p>しました。その総会を開催したところです。</p> <p>それから、8月になりまして8月7日、新規採用試験の一次合格者9名に模擬面接を行っております。</p> <p>それから、中体連との協議をしておりますけれども、共催行事であります2学期に予定されている駅伝大会であるとか、球技の新人大会について、コロナとの関連で協議を行っております。駅伝大会とか新人大会はコロナ対策を十分に行った上で実施する方向で準備をしております。</p> <p>ちなみに、小学校体育大会、小体会であるとか対馬市音楽会は、今年度は中止ということになっております。ほかにも運動会であるとか修学旅行など、コロナとの関連で、今、各学校で検討が進んでいるところです。</p> <p>それから、11日に対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会と記しておりますけれども、前日の10日に委員の先生方が来られる日に台風5号が接近したために延期をしております。担当としては、保存活用計画の基本方針を検討する関係上、どうしても集まってもらいたいという意向でしたけれども、延期はしましたけれども、日程がとれなく難しい状況になっております。そこで、今月の31日にウェブ会議で実施をするというふうな報告を受けております。</p> <p>19日に教科書採択協議会を行いまして、来年度から対馬の中学校で採用する教科書の選定を行いました。この後、議案として提案をいたします。</p> <p>以上で教育長諸報告を終わります。報告事項について質疑等がありましたら、「その他」の項でお受けをしたいと思います。</p> <p>続きまして、日程第4、議案第20号「令和3年度中学校教科用図書の採択について」を議題とします。事務局から提案理由の説明をお願いします。</p>
吉野課長	<p>それでは、議案第20号の「令和3年度中学校教科用図書の採択について」説明をいたします。まず、採択事務の日程について説明をいたします。今日配付をしております資料の2ページをご覧ください。</p> <p>今回の採択事務につきましては、まず6月5日金曜日に第1回の採択協議会を開催しました。その後、教科書の調査研究につきましては、調査員の第1回会議を6月9日に開催し、調査員の委嘱、採択事務の説明、教科書見本の配付を行い、調査研究を開始いたしました。第2回、第3回目を各教科ごとに行い、調査結果を7月10日金曜日に提出していただきました。</p>

	<p>また、調査研究と並行して教科書見本の展示と学校巡回展示を行いました。教科書見本の展示は、対馬市交流センター、峰行政サービスセンター、上対馬総合センターの3カ所で行いました。学校巡回展示は、市内全中学校で実施をしました。</p> <p>7月16日に第1回の選定委員会を開催しました。その後、第2、第3回目を各教科ごとに行い、選定結果を8月7日に提出していただきました。選定委員の先生方には、教科書の研究とあわせて県の研究資料や対馬地区の調査員の調査報告、学校巡回展示のアンケートをもとに協議をしていただきました。そして、第2回の採択協議会を8月19日に開催し、選定結果をもとに最終審議をし、その結果を本日の教育委員会会議にお示しをさせていただいているところです。</p> <p>以上が採択事務の日程の報告です。</p> <p>続いて、資料の3ページをご覧ください。教科書の選定推薦順位を1位から2位または3位まで丸数字で示しております。4ページから48ページには選定委員会からの選定報告書を掲載しております。これらをもとにしまして、配付資料の1ページになります。1ページのとおり、令和3年度使用中学校教科用図書採択案を提案いたします。</p> <p>なお、今ご覧いただいております配付資料につきましては、会議終了後回収させていただきますことをご了承ください。よろしくお願いいたします。</p>
永留教育長	<p>吉野委員さんと佐伯委員さんには教科書採択協議会委員になっていただいております。</p>
佐伯委員	<p>私の方から今回の感想を、すみません、いつも言わせていただいで。</p> <p>発言としてはちょっとさせていただいたのが、アンケートの結果が今回、前年度よりも少ないのかなという印象を受けたので、今、デジタル教科書とかもかなり進んでいるというようなお話も聞いてたので、そういったものをネット上でも公開することができるようだったら検討をお願いしますというお話をさせていただきました。</p> <p>ただ、その後、終わった後、選定された教科書を見直して見てたんですが、触ったときの重さが違うとか、軽くなってるとか、それとかサイズが机に乗せやすいサイズになってるとか、一冊一冊の教科書の本当にたくさんの工夫がされてあるものは、やはり手にとらないとわからないなというところもあわせて感じ取らせていただきました。先生方も非常にそういうところまで、細やかなところまで見ていただきましたし、また対馬市の記述に関しては、とてもきめ細やかにチェ</p>

	<p>ックをしていただいて、本当にふさわしい教科書を一生懸命選んでいただいたんだなということを感じさせていただいた次第です。ありがとうございました。</p>
吉野課長	<p>ありがとうございます。</p>
永留教育長	<p>ほかにありませんでしょうか。 一宮委員さん、よろしいですか。 じゃあ、ほかに質疑等ないようですから、これから議案第20号を採決します。お諮りします。議案第20号「令和3年度中学校教科用図書採択について」は、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
会場	<p>「異議なし」の声。</p>
永留教育長	<p>「異議なし」と認めます。よって議案第20号は原案のとおり可決されました。 続きまして、日程第5、議案第21号「対馬市立学校体育施設等の開放に関する規則の一部を改正する規則について」を議題とします。事務局から提案理由の説明をお願いします。</p>
庄司課長	<p>それでは、資料の5ページになります。議案第21号「対馬市立学校体育施設等の開放に関する規則の一部を改正する規則について」、教育委員会の議決を求めるものです。 提案理由につきましては、対馬市立学校及び幼稚園統合推進計画に基づき、既に閉校または閉校予定である学校の体育施設の開放について、所要の改正を行うものです。 改正の内容は、6ページの一部を改正する規則に記載のとおり、対馬市立学校体育施設の開放に関する規則の別表第1の1、小学校の表中「対馬市立大調小学校」の項及び「対馬市立小綱小学校」の項を削るものです。 7ページからの新旧対照表をご覧ください。表の右側が現行規則、左側が改正案となっております。この表の中で、平成30年3月に変更となりました「対馬市立大調小学校」が削除されていなかったため、今回削除するものです。 また、令和3年3月に閉校予定であります「対馬市立小綱小学校」について、学校体育施設でなくなるため削除をするものです。 附則で施行日を小綱小学校閉校後の令和3年4月1日としております。 以上で説明を終わります。ご審議の上、ご決定賜りますようお願い</p>

	いたします。
永留教育長	<p>説明が終わりましたので、審議方、よろしく申し上げます。質疑はありませんでしょうか。</p> <p>質疑等ないようですから、これから議案第21号を採決します。お諮りします。議案第21号「対馬市立学校体育施設等の開放に関する規則の一部を改正する規則について」は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。</p>
会場	「異議なし」の声。
永留教育長	<p>「異議なし」と認めます。よって議案第21号は原案のとおり可決されました。</p> <p>続きまして、日程第6、報告第11号「教育委員会の点検・評価報告書について」を議題とします。事務局から報告をお願いします。</p>
八島次長	<p>それでは、会議資料の9ページをお願いいたします。報告第11号「教育委員会の点検・評価報告書について」、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないとされております。</p> <p>また、この点検・評価を行うに当たりましては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされております。</p> <p>令和元年度における教育委員会の点検・評価報告書は、7月29日に開催された第2回教育委員会の点検・評価委員会で最終案が決定されましたので、教育委員会に報告し、令和2年第3回対馬市議会定例会に提出するためご承認をお願いするものです。</p> <p>それでは、報告書の内容についてご説明いたします。別冊の報告書をご覧くださいと思います。今回、点検・評価委員に、退職校長会会長 杉本美津廣氏、文化財保護審議会委員 小島武博氏、社会教育委員 吉田千鶴代氏の3名の学識経験者の方を委嘱し、6月30日に第1回の点検・評価委員会を開催し、教育委員会事務局から各項目ごとに説明を行いました。それが報告書の13ページから38ページでございます。</p> <p>その後、点検・評価委員から所見をいただきまして、7月29日に第2回点検・評価委員会を開催し、委員からの所見に対する確認を行い、報告書をまとめております。</p> <p>学識経験者の所見として、評価できる点、改善を要する点につきま</p>

しては5ページから12ページに記載しております。まず5ページをお開きください。

評価できる点につきまして、まず第1、教育委員会の活動及び管理執行事務。1、教育委員会及び教育委員の活動については、①教育委員会会議の運営改善では、会議録を広報紙に掲載することは、市民が教育（教育委員会）に関心を持つ上で大変有意義なことだと評価できる。②教育委員会と市長との連携では、教育は学校や教育委員会だけでは成り立たない。教育環境の充実を図るためにも、総合教育会議が定期的実施されることは評価できる。今後も積極的に教育の課題を市長部局へ発信してほしい。

2、教育委員会が管理または執行する事務のうち教育長に委任できない事務の中では、①学校その他の教育機関の設置及び廃止に関することについて、令和元年度末の浅海中学校の廃止に当たっては、地域住民等の声にも十分配慮した措置であり評価できる。また、令和2年度末の小綱小学校統合に係る保護者説明会を令和元年度中に余裕を持って実施したことも、極めて配慮を有する統合問題に向き合う教育行政の姿勢として評価できるなど、4項目について所見をいただきました。

6ページをお願いします。第2、教育委員会事務局の執行事務。教育委員会から教育長に委任される事務の1、学校教育の推進に関する事務は、①地域特性を踏まえた教育の充実で、小学校複式指導法研修会は、多くの複式学級を抱える対馬市にとって重要な研修会の一つであり、毎年、教育委員会が中心となり内容の充実を図っていることは評価できる。特に初めて複式指導を担当する教諭にとっては、公開授業、研究協議を中心に据えた研修会は大変意義があると思われる。今後も対馬の児童の学力向上のため、複式指導でのICT機器の活用、間接指導時の手だて等について継続研究してほしい。

また、新補及び転入管理職員研修会は、新補管理職としての心構え、新補管理職にとって必要不可欠な職務内容について指導することに加え、外部講師を招聘して、対馬の自然・文化・歴史等について学ばせる等、研修内容は充実しており評価できる。

②特色ある学校づくりの推進では、新任校長学校訪問で、1学期中に教育長を初め市教委の全指導主事が新任校長校の学校を訪問し、学校経営等について示唆を与えることは、まだまだ学校経営に不安を抱えている新任校長にとって大変意義あるものである。その観点から、温かい雰囲気のもと、細部にわたって新任校長に指導・助言がされて

いることを評価したい。

④不登校児童生徒対策の推進では、教育支援センターの運用では、「みちしるべ」を利用する児童生徒数が増加したこと、またこのセンターへの来所を機に数名の児童生徒が学校へ登校できるようになったことは大いに評価できる。センターの運営に当たっている職員や支援活動をしているボランティアの方々には感謝したい。

⑦情報教育の推進では、情報教育の推進については、現在、急速に情報化社会が進展し、情報活用能力の育成の重要性がますます高まる中で、市内全中学校に1人1台のタブレットを整備していることは大いに評価できる。

なお、新型コロナウイルス感染防止のため臨時休業したとき、タブレットを家に持ち帰らせ、毎日の健康観察や教科等の学習に取り組みせることもできた。今後、予算を伴うが、小学校にも1人1台のタブレットを整備できるよう検討してほしいなど、8項目について意見をいただいております。

次に、8ページをお願いします。2、社会教育の推進に関する事務では、①社会教育各種団体との連携を図った成人教育の充実では、社会教育委員と公民館運営審議会委員の合同会議が2回開催されたことは、より市民の声を把握し、行政に反映していく上で大変意義があり、双方の委員会並びに各委員のあり方、方向性を再認識できることは評価できる。

③郷土を愛するつしまっ子の育成では、この評価項目は子供の体験型学習の充実の項目から改められた項目である。新たな評価項目の設定によって、体験型学習を通じた市教委の重点事業「ふるさと学習」が系統的で具体的に取り組んでいることが明確になり評価できる。特に、「しま」交流支援事業については、対馬市外から多数の子供たちも参加し、対馬に対する深い学び、理解や参加者同士のコミュニケーションの増加が図られた事業であり、今後もこのような事業を継続してほしい。

9ページの⑦文化財の普及活動では、各文化財史跡の見学会を市民レベルで開催することは、文化財の周知、理解に大変有意義なイベントであると評価できる。できれば文化財啓発月間（11月）に定例化した見学会・報告会を開催すれば文化財啓発の趣旨もわかりやすく、多くの市民の参加にもつながると考えるなど、8項目について評価できるという意見をいただいております。

次に、10ページをお願いいたします。改善を要する点でございま

す。
第1、教育委員会の活動及び管理執行事務のうち、1、教育委員会及び教育委員会の活動について。①教育機関との連携では、ここ数年、島内高校への進学率が減少し、懸念している。対馬市の課題である若者の島外流出を避ける上でも、その原因を探り高校と話し合う機会が必要ではなかろうかということでした。

次に第2、教育委員会事務局の執行事務、教育委員会から教育長に委任される事務のうち、1、学校教育の推進に関する事務で、①地域特性を踏まえた教育の充実についての文面の中ほど、現在の初任者研修制度では、初任者は研修に追われ、児童生徒と触れ合う時間が制約されている。校外研修でクラスを空けることが多かったり、校内においても研修のための事前準備、研修後の報告書の作成等、初任者にとって時間に追われることも多い。そこで、現在1年間で実施している初任者研修の内容を2年間で研修させることはできないか検討していただきたい。それができれば、初任者も時間的・精神的に余裕を持って児童生徒の指導に当たれるようになると思われる。

②不登校児童生徒対策の推進では、対馬市内では、現在のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー派遣事業の数では相談を受けることができる不登校児童生徒が限られている。多額の予算を伴うが、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー派遣事業の派遣回数増加を検討してほしい。

③学校施設整備の整備充実では、老朽化した校舎の維持補修にはそれ相当の予算措置が必要であり、限られた予算の範囲でしか対応できない点は理解できるが、危険防止対策や雨漏り等、緊急を要する維持補修には市長部局財政担当とも連携しながら迅速に対応してほしいなど4項目。

それから、11ページをお願いします。11ページの2、社会教育の推進に関する事務では、①家庭教育の推進で、家庭教育学習が、数年、巖原幼稚園のみとなっているが、たくさんの園児や保護者に機会を与える意味でも他の幼稚園への働きかけをお願いしたい。

⑤図書館活動の推進では、つしま図書館は地域住民が手軽に利用でき、またCATV等での新刊の紹介、図書館まつりの企画運営等図書館職員の日々の努力は評価できる。しかし、つしま図書館が毎週月曜日以外にも図書の整理等による休館日が年間を通して多いと思われる。臨時職員や図書ボランティアの増員を図り、開館日の増加に努めてほしい。特に学校が休みの日は、極力利用できるようにしてほしい。

	<p>い。</p> <p>⑥史跡・民俗の調査記録では、対馬島郷土芸能大会は、参加団体の減少等の理由により令和元年度を最後に開催されないが、この大会は島に残る貴重な伝統芸能の保存・継承のために重要な役割を果たしてきたと思われる。このままでは対馬ならではの伝統芸能が市民から忘れ去られる心配もある。教育委員会が力強く後押しして、対馬島郷土芸能大会の復活、またはこれにかわるものの開催が望まれる。</p> <p>⑧郷土館・資料館の整備等では、郷土館など市内にある3つの既存施設とあわせて各地区生涯学習センターなど、観光客及び市民の学習要求を効果的に満たすために、どの窓口を訪れても伝統の文化財状況の概略や主要な文化財史跡がわかる資料の作成が必要である。市民に平等に対馬固有の歴史を提供するという視点からの改善をお願いしたいなど、8項目について指摘や要望を受けております。いただきました所見を踏まえて、今後の教育行政に推進に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
永留教育長	報告が終わりましたが、この点に関して質疑等はありませんでしょうか。
吉野委員	26ページの中身についてなんですが、括弧の12、南小学校について保護者説明会を行ったが理解を得ることができなかったということですが、その後、これは昨年度の感じだろうと思うんですが、今年度の雰囲気、説明等についてはどういう状況でしたか。
八島次長	今年度につきましても、根気強く説明をしながら統合に向けて協議をしていきたいと思っております。とりあえず、また日程を調整しながら説明に入る予定としております。
吉野委員	まだ地域の快諾は得られていない。
八島次長	保護者の皆さんにまず了解をもらわないといけませんので、まずそこがまだできてないということです。
吉野委員	これは3年度からでしたかね。まだ決定の、これもしてないのか。
八島次長	南はまだ決定はしておりません。大分、1桁台に人数が減ってくる予定ですので、早目にお話をしながら進めていきたいと思っております。
吉野委員	これらが今年度で、来年度は南小というような計画的なものは一応あるわけ。
八島次長	今度、後期の計画が今年で終わりで、新しい統合計画を今年またつ

	くるようにしております。その中である程度の目途を立てて進めていこうかなど。
吉野委員	毎年学校がなくなるのは寂しいけど、保護者の理解が得られないことには先へ進まんでしょうから。
八島次長	強制的に進めるということもなかなかできませんので。
永留教育長	ほかにありませんでしょうか。
一宮委員	今の関連で26ページ、第2次対馬市立学校及び幼稚園等統合推進計画ですね、その策定を検討するということですが、いつぐらいにできるとか、目途は。
八島次長	今はまだ検討の真っ最中でして、当然、委員会にもまたお示しをしないといけませんし、その辺もありますので、なるべく早目にはつくりたいと思っているんですけど、12月とか年が代わってすぐとかいうぐらいのところでできればなど。
一宮委員	ある程度固まったものを、この第2次のときはここに提案されて、私たちも、ああそうなのかというふうな理解の仕方しかできなかった部分もあるので、そのあたりがどういうふうな。ご提案されたものを、そうですかって承認するような形でのかかわりなのかというのをちょっとお尋ねしたいなと思って。
八島次長	委員さん方の意見も取り入れられるかどうかというところですかね。
一宮委員	そうですね、そのあたりはどうなのか。
八島次長	つくり込み方が、基本的には委員会の中でつくっているところもあるみたいなものですから、それをご承認いただくというような形になるかと思うんですね。計画どおりに進むというものでもないもので、一応、子供たちの推移を見ながら計画で何年ぐらいにというところで組み立てていくので、そこで承認いただければいいかなとは思っています。
一宮委員	お示しいただいた計画に対しての質問をしたりやりとりという形ですかね、捉え方は。
八島次長	そこはしてもらっても。
一宮委員	了解いたしました。 続きまして、今度は10ページあたり、改善を要する点について、1番の島内高校への進学率が減少を懸念しているという云々というところがあります。高校と話し合う機会がある程度進んでいると思いますので、お尋ねしたいです。もう1点は、この初任者研修、果たして

	<p>2年間で研修させることが可能なかどうか、具体的にご説明ください。</p>
八島次長	<p>まず、最初の高校の部分ですけれども、基本的には高校の存続については我々教育委員会としての権限の範囲ではないので、そこは一つ協議の場、意見を述べる場というところで、先ほど高校のところは教育長の日程の中にもありましたように、情報交換とか、そういうのがあるんでしょし、基本的には総務部の方で、また対馬の高校存続みたいところで補助とか何か少し考えてしているところもあるみたいですので、そこら辺のまたところはあるかと思う。ただ、高校存続に対して、我々教育委員会と高校が直接協議をするというところは基本的にはないのかなと。プラス、あとは学校教育課がしているところの部分で説明を。</p>
吉野課長	<p>まず、この島外流出ということは、教育委員会も高校も重く受けとめている部分があって、中高連携協議会というのを一昨年立ち上げて、中学校と高校が連携をしようということで、まず大きな会議としては、高校の校長先生方と各支部の校長先生方が集まる会議があります。その中で、今年度も1回話し合いをしました。話し合いをして、その中でどういうふうにしたらもっとみんなが残れるのかなとかいう話を中学校・高校の校長と一緒にしたり、話しながら課題もいろいろ出てくるので、どうしたらいいだろうって一緒に考え合ったりして、そういう機会を設けております。</p> <p>あと、生徒指導部会や各教科部会もつくって、その中で乗り入れ授業ですかね、そういう形で高校の先生が中学校で授業をしていただいたりとかいうこともしております。</p> <p>あと、上対馬高校の方が中学校との一貫型の教育ですね、行っておって、そこで高校の先生方を中学校の子供たちが知ること、上対馬高校への島内からの進学が少し増えたというような状況も昨年度とその前ぐらいにあったんですね。ですから、そういう取り組みも含めて、高校と中学校の連携をそういう中で進めているというのが今の状況であります。</p> <p>それから、初任者研修の件につきましては、これは県も含めての研修で、今は1年目だけではなくて、1年目、2年目から管理職になるまで、教員としてのステージに応じてどういう資質を身につけるべきだという指針が示されておりまして、それに基づいて研修をしております。ですから、単に初任者研修のみやっておれば2年間でいいということは、対馬島内でやるのは考えているところがあるんですが、2</p>

	<p>年目の研修はまた2年目としてありますので。以前、ずっと前は、初任者研修はかなり多岐にわたって初任者の大きな負担になっていた時代もあったんですが、今は校内の指導員プラス拠点校指導員といいまして、専門にして研修を行ってくれる教員が2週間に1回ですかね、訪れて研修という形もとっておりますので、可能であれば負担がないような方法を今後も探しながらと思っておりますが、すぐこの2年間という見方は、なかなか厳しいところがあるかなとは感じております。</p>
一宮委員	<p>わかりました。ありがとうございました。</p> <p>高校の魅力化といいましょうか、中学校の子供たちが高校を魅力に感じ、対馬高校、豊玉高校、上対馬高校として、それぞれの特性を生かした高校の魅力化ということに持っていく形で、より核心に触れるような話し合いとか計画が実行できればいいかなと思いました。</p> <p>初任者研修につきましては、とにかく初任者が担任を持つと、どうしても子供と触れ合う時間が研修によって削られるので、そのあたりをよろしくお願いします。</p> <p>もう1点よろしいですか。不登校の生徒が「みちしるべ」、教育支援センターを利用して効果がどういうふうにあっているかを教えてください。ひきこもりの子供が増えているのか、それとも支援センターを大いに利用して、学校に復帰しているのかという現在の状況を知りたいです。</p>
吉野課長	<p>まず、今年度の不登校の数については、大きな変動はあってなくて、急に増えているとかいう状況ではありません。</p> <p>教育支援センターですけれども、昨年度開所して2学期以降に来る人が増えたという話を聞いてます。ここに来て、すぐ学校に復帰とも、なかなかそういう状況にいかないわけですが、年間で延べ回数にすると百二十何回だったと思いますが、子供たちが来ているという状況から、子供たちの一つのよりどころの場とはなっているのかなというふうに考えております。</p> <p>そして、教育支援センターの相談員さんも、退職の校長の相談員さんがしていただけてますけど、退職の校長という経験だけではなくて、心理学等もかなり勉強されて、そういう子供たちへの対応ということで努めていただけておりますので。あと、対馬の距離があるので、上の子はしょっちゅう通えるとか、そういうなかなか難しい面があるんですけど、相談員さんの方は各学校を回って、どういう状況ですかというふうに話をさせていただいたりというふうにも積極的に動</p>

	<p>いていただいていますので、そういう意味で学校との連携はとりやすくなってきているのかなというふうに思いますが、この支援センターに行く数がただ増えればいいのかとか、その辺の難しいところもあるので、何をもって成果とするかは難しいところがあるんですが、今できる範囲で非常に積極的に子供たちのために頑張っていたという状況ではあるかなと思ってます。</p>
一宮委員	<p>支援センターにもまだ足が向かなくて家にいる児童生徒はどのぐらいいるんですかね。</p>
吉野課長	<p>数は、はっきり把握しておりませんが、今、ここにあるスクールソーシャルワーカーでありますとかスクールカウンセラー等が家庭訪問していたりとか、もちろん各学校も行ったとかしながら、かかわりは持ちながら切れないようにというところを各学校で努力はいただいていますけど、誰か定期的に行けばどうなるってということでもないもので、なかなか難しいところではありますが、各学校においてそれぞれの工夫で努力はしていただいている様子は感じております。</p>
一宮委員	<p>じゃあ、まだそれぞれの学校に、ここにも行けずにおうちにいる子供がいるということですよ。</p>
吉野課長	<p>それぞれの学校まではないと思いますが、島内で何名かはおります。</p> <p>不登校でも、時々学校に来れる不登校もおりますし、ずっと来れない長期の子供もいろいろいるので、どの子から支援センターに行くかというのは本人の希望とかにもよってくるので、全然来てなければ、それじゃあ支援センターというわけにもなかなかいかないところもあります。</p>
一宮委員	<p>1回でも2回でも支援センターに行くのは、それで利用している子供、つながりができるからいいんですけど、支援センターとか学校にも行けずに、自分のうちにひきこもってる生徒さんとか児童の数っていうのは把握しておられますか。</p>
吉野課長	<p>数、今はちょっとはっきりわかりませんが、数名おりますね。</p>
一宮委員	<p>数名ですね。数十名じゃない。</p>
吉野課長	<p>数十はいないとは、予想ですけど、私の印象では。</p>
一宮委員	<p>わかりました。そこがちょっと心配に今なったんです。少しずつそういうふうな生徒さんは減少の傾向にあるということですね。</p>
吉野課長	<p>今、横ばいという、大きく増えてはないし、大きく減ってもない、ここ2年間ぐらいそんな感じですね。</p>

一宮委員	質問は以上で終わります。
永留教育長	不登校の子供に関しては、今後の方向性として、ICT、端末を使った家庭学習、ここらあたりの支援のことを考えていかないかんじゃないかなと。たまにしか来れん、勉強したいんだけど、学校に行けないっていう子供たちもいるでしょうから、そういう子供たちに対して端末を使つての家庭学習支援といいますかね、こういうものを考えていかなければいけない時代に来たんじゃないかなというふうに思いますけどね。
一宮委員	学力がいじめに発展したり、いろんなところに関係するんで、今のすごくいいお考えだと思いますので、ぜひよろしくお願いします。
永留教育長	ほかにありませんでしょうか。
吉野委員	11ページの2の③対馬少年の主張ですね。対馬少年の主張大会と、それから28ページのじんけんを考える集い、いずれも毎年のように参加者が少ないとか、もっと呼びかける必要とか書いてありますけど、教育委員会の方で、多分、児童生徒が参加する行事が重なっていると思う、大人だけの行事じゃなくて。だから、児童生徒が参加する行事の調整はできないものか、どうなんですか。評価でも毎年のように、呼びかけとか参加してほしいとかいろいろ書いてあるんですけども。去年の状況としては、少年の主張大会に児童生徒が参加するスポーツ行事とかが重なったとかなかったですかね。
庄司課長	昨年度から家庭の日の第3日曜日を避けて第4日曜日にしたんですけども、毎年そこがバレーボールの中体会のシードを決める大会が開催されておりまして、ほかの大会等とも調整をしたんですけども、どうしてもそこが調整できないと。第3日曜日、家庭の日ということで、できるだけ行事をやらないようにということでしたもんですから、私たちの生涯学習課が所管で第3日曜日にするにはちょっと難しいということでしたところ、ほかの行事と調整はしたんですけど、そこだけが調整がつかずにできなかったということはございますが、できるだけ行事が重ならないようには、いろんな行事を開催する際には調整を図っております。
吉野委員	じんけんを考える集いでも、毎年たしか12月の第1日曜か何か。
庄司課長	第1ですね。
吉野委員	これもここに書いてあるように、市内イベントとの重なりがあったりとかそこら辺で、お互いにそれぞれの定例があるから動かせないところがあるんですかね。

庄司課長	この昨年度のじんけんを考える集いにつきましては、民間のイベントが重なりまして、そこは私たちの方から言えるところではないですけども、そっちの方がかなりの集客があったというふうには聞いております。
吉野委員	子供たちが参加する行事じゃなかったわけ。
庄司課長	子供たちの行事ではなくですね。ですから、そちらの方から、たまたま去年の民間の行事がシャインドームでありましたものですから、そちらの方と近くだったので、流れてくれないかなという期待も持ってたんですけど、そちらが終わってじんけんの集いの方に流れるということもなくて、なかなか集客にはつながらなかったということがあります。
吉野委員	毎年同じことが繰り返されているようですので少し残念だけど、せめて子供たちが参加する行事だけでも調整ができないものかと思ってですね。民間の方に対してはちょっと難しいかもしれない。
庄司課長	少年の主張につきましては、今年度から11月末に開催をするように日程の変更をしました。11月末というのは、調査しましたら、大会等ほとんど入ってなく、今までは美津島、厳原も、そこでやっていたんですけど、今年度からは各町の大会をなくして市の大会一本ということで11月の最終日曜日に開催するように変更して、少しでも参加者が増えるような感じで進めていきたいと考えております。
吉野委員	わかりました。
永留教育長	ご意見はありませんでしょうか。
佐伯委員	35ページの方に13番で天然記念物の保護ということで書いてあって、先日、千尋藻の漣痕に久しぶりに行ってみたんですが、歩道が危険な状況になって、その1点を捉えてどうのこうのというようなことではないんですけども、そういう危険箇所とかも結構さまざまなところで出てきてるはずなんですよ。把握されてる内容で結構ですので、そのあたりの状況を教えていただけたらなと思ってですね。
川辺課長	文化財課の方でも定期的に巡視を委託してるところもあるし、あと職員が分かれてあちこち見回りもしているところ。特に夏場は豪雨とか台風とかが多いので、そういうのが過ぎ去った後は分散して各文化財、気になるところを見には行ってます。今のところ、最近特に状況が悪いというのは多々ありまして、それは文化財だけに関することじゃなくて対馬全体のことなんですね。有害鳥獣が山を荒らして、そこに集中豪雨があつて山が崩れてきて、その下にある文化財が被害をこ

	<p>うむる。例えば代表的なところでいえば皆さんよく行く金田城、毎年毎年災害で工事請負とか補正を組んで登山道とかを扱ってるんですけど、毎年流れていくの繰り返し。最近であれば越高の遺跡も同様に、今年はまだ大きな台風は来てないんですけど、この間ちょっとかすった台風はありましたけど、あれ余り大したことなかったですよ。それでも後で行ったら全然様子が変わってたりしたんですよ。あちこちそういうところは多いです。あと、つい今週報告を受けたのであれば、廻の鯨組のお墓もかなり山の斜面が崩れてきて墓石が去年よりも多く倒れているとかいう報告を聞いてます。ほぼあちこちだと思う。でも、それは文化財だけに限らず、対馬全部が崩れかかっているのは、ここに来るまでの間を見られても多分皆さん同じことだと思うんですけど、なかなか難しい。根本的な理由っていうのが、山が死にかけてきているというか、そういう状況なので、正直ちょっと難しいなって今、やってもやっても次から次にというところなんですよ。だから、一応確認はしてます。できる範囲で倒木をどけたりとか側溝が埋まってるところもどけたりとかはしてるんですけど、毎年それが繰り返されてるというのが現状ですね。</p>
<p>佐伯委員</p>	<p>先日もちょっと言ったんですけど、県外から原動機付自転車でやってきたらしい青年が、豆碓崎の方に観光に来てると。今ちょっといろいろなことで対馬は注目を浴びて、アピールのチャンスとかいうこともあるんですが、安全確保を何とかしていかんと、そこでけがをされたりするのも非常にまずい状況……、おっしゃられるように文化財課だけの問題ではないのかなというふうに感じております。さまざまな遺跡とか記念物とかに行くと表示板もほとんど見えないところが多かったりとか、千尋藻の漣痕もサボテンだらけになってるんですよ、足元が。海の横の遊歩道も半分崩れかかってコンクリートが、下の石がむき出しになったりとか。全体的に何とか打てるところから少しずつでも手を打っていかないけんなどって一市民として感じております。</p> <p>以上です。ありがとうございました。</p>
<p>永留教育長</p>	<p>質問等は今までですが、この10ページから12ページまで、改善を要する点というのが上げられております。委員さん方から、ここはこういうふうな改善であるとか、ご意見を聞かせていただけたらと思うんですけども。</p>
<p>吉野委員</p>	<p>教職員住宅については、解体は教育委員会の方で予算をもらってし</p>

	ているのか、あらかじめ長く入ってないところは全部市の方に移管してもらって市の方で解体しているのか、その辺はどっちやったですかね。教育委員会の方でも教員住宅は解体してるんですかね。
八島次長	我々の予算の方でも。
吉野委員	処理をしてるんですか。
八島次長	まだ一部、自分たちの教育委員会の概算の部分についても教育委員会が、既に渡している分については市の向こうの予算という形にはなりませんので。
吉野委員	結構空き住宅があるが、身軽になった方がいいかなって。
八島次長	それは、空いているからといって全て市の方にやれるわけではないので、そこら辺があるもんですから。できる範囲ではやってるんですけど、統合に合わせてそこら辺は出てくるので。統合して、結局その教員住宅も統合先に移転するもんですから、若干でも入っておけば、全て一括でやらないというところもあって、一応少しずつ解体はしてるんですけど、やっと予算がつくようになってきました。
吉野委員	予算的にも教育委員会が少ない予算だから、移管して身軽になった方がいいかな。
八島次長	自然体が一番いいことだと思います。
佐伯委員	図書館の関係ですね。11の5番ですかね。なかなか利用できない日が多いというふうなことなんですけれども、司書の研修会とかそういったものはされてらっしゃるんですかね、ボランティアの研修会とか。興味を持ってもらう上で、こういうところが楽しめるとか、全く知識のない人でも取っつきやすくするように、そういった工夫は、こういうものですよということを広めるための研修会というようなものも開催してみるといいんじゃないかなって以前から思ってたもので。
永留教育長	市民向けの研修会をということですか。
佐伯委員	そうですね。
吉野委員	司書担当向けじゃなくて。
佐伯委員	司書担当向けではなくて、ボランティア活動を市民に呼びかけるだけじゃなくて、こういうことで。説明会と言ってもいいんですけど、説明会というと人がなかなか集まらないと思うので、そこはちょっと呼び名を変えたりとか、市民がより入りやすいような仕組みづくりをしていく必要があるのかなというふうに思ってます。行って何するの

	かわからないボランティア、取っつきにくいと思うんですね。
庄司課長	一番下のところの臨時職員や図書ボランティアの増員を図りというところ。
佐伯委員	そうですね。
庄司課長	図書ボランティアのために入ってきてくださる方への研修会を図書館の方でということですね。
佐伯委員	図書館の方で、今やってらっしゃる方の体験談とか、そういったふうなことで人に興味を持ってもらうようなイベントなりを開催したりするとどうなのかなとかですね。せっかくいい図書館があるので、とにかくみんなに足を運んでもらって、やってみようかなって思えるようなイベントなりを企画してみていただいたらどうかなというふうに思っています。
庄司課長	また図書館の方に伝えておきたいと思います。
一宮委員	<p>関連で、図書について。この前、研修会で双葉先生をお呼び……、昨年ですかね、おいでいただいたりしたじゃないですか。今度、その図書館、つしま図書館というか、図書館の方に保護者を対象に、親子読書でも選書ですね、本の選び方とか、いろんなものを含めて、双葉先生はたくさんお持ちですから引き出して、お呼びして、市民向け、保護者向けにして、どんなふうな読み聞かせがいいのか、幼児本なんていうのをしていただくと、よりあそこの図書館の保護者とか地域の人が身近に感じられて、普通のそういうところであるんじゃないかな。結構入りますよね、あそこはいろんな数が。こっち座ったり、あっち座ったり、きちんとしなくても。それか交流センター、こちらの何階かで小学生にお話をした後に、じゃあ実践でそこという方法もありますし、ぜひそういう柔軟な対応で、双葉先生があれしてらっしゃるうちにどんどんお力をかりたら活性化するのかなという気が1点あります。</p> <p>もう一点は、1番の高校との連携の件を学校教育課長さんがおっしゃいましたけど、そういうふうに中高連絡会、校長先生方同士の話し合いをしたり教科部会をしたりしてらっしゃいます。それを今度は各学校に発信したり、今こういうふうな状況を話し合いでこういうふうにしてますよとか、こういう状況ですよとか、あるいは高校側は今度高校の魅力化について説明をするとか、そういうふうな何か機会があったらいいのかなと。昨年か一昨年、教育長さんと糸瀬課長さんが来られて高校の教員に講話をしていただいたんですね。そういうふうな</p>

	状況のことも発信、そういうふうなことをやってますよという情報を公開して、そして教育現場は努力をしていますよというようなことも含めて知らせる方法もあってもいいのかな。必ずこれは話題になるんですよ、今。
吉野課長	上対馬の方がやったことを教頭先生がまとめて、それを配ったりはしています。どの範囲まで配っているのかはちょっと覚えてないんですが、そういう発信をしています。
一宮委員	発信をした方がいいのかなっていう気がしますね。それぞれの取り組みみたいなものを発信していきながら、全体が、対馬の高校や中学校、小学校、連携しながらやっていますよという、そういうスタイルを発信するというのはいんじゃないかなと思うんです。何もやってないような捉え方をされるので、どうかな。一生懸命してらっしゃるのでと思います。
吉野課長	ありがとうございます。
永留教育長	中高連携協議会をつくってから、今、言われるように、高校の魅力化、これも一つの原因じゃないかということで、高校の内情を中学校の教員であるとか保護者が知らないんじゃないかということで、高校側から夜の時間を使って各校区ごとに出向いて説明会を持ってくださったりしています。
一宮委員	いつですか。
永留教育長	夜。
一宮委員	昨年ですか。
永留教育長	昨年やったと思います。
一宮委員	それは説明会ですね。
吉野課長	おっしゃってるのは、中高連携協議会でやっていることをもっと発信したらということをおっしゃってくださっている。
一宮委員	いいんじゃないのかなという、より固まった方が。高校側は高校側で……。
永留教育長	中高連携協議会で形式的な話は要らんと思ってるんですよ。中学校の校長と高校の校長が本音でぶつかり合えて、本音のところで出さんと本当の解決の方法は見つからんっていうことで、この中高連携協議会を立ち上げたんですよ。だから、じゃあ中高連携協議会で何やっておるけん、それをどう発信するかというのは非常に難しいなと思うから。

	だから、中高連携協議会でやっていることじゃなくて、じゃあ高校の魅力化の発信じゃないかなと思うんです。だから、高校の校長を中心に各学校であるとか保護者であるとかにどんどん出してもらう。そうすることが、中学生が島の高校に進学する一つの動機になればいいなというふうには思ってるんです。
一宮委員	私としては、いずれにいたしましても、そういった発信、今、教育長さんがおっしゃったような、その方法でもよりいいでしょうし、せっかくそういうふうな話し合いをしたり教科部会でしてるんですよ、いろいろ各教科のこと。そういうようなものをお互いが共有財産として持っていくという形にしたらいいのかなと思ってるんですけどね。
吉野課長	今年、中高連携協議会で高校の校長先生と各支部の校長先生と話し合いをした中で、結構、教育長が言われるように、本音の部分で話をされて、実際に例えば入学説明会、普通、3年生あたりが行くんだけど、2年生、1年生も行かせてもらえんやろうかって中学校から話があって、それできますよというふうに、そこで話したことは実践もできるようなことも結構中では、今年、高校でこういうことしたいんだけどという提案を受けて、中学校でじゃあこうしましょうかという話も結構なされているので、それを校長がまた持ち帰って学校で話すというような形では発信はできているとは思うんですけど。言われるように、中身とか高校の魅力化とか、いろいろ発信の手だては考えていかないかんかなと思いますけど。
一宮委員	欲しいなという気がちょっとしますけど。
永留教育長	難しいんです。
佐伯委員	豊玉高校、上手にやってらっしゃるなと思うんですけど、生徒とのかかわり日本一って、昨年ぐらいまでずっと校門のところに掲げてらっしゃるんですよ。要するにマンツーマンに近いような形で、今、生徒も少ないし、先生も少ないけど、そういうふうなことでやっているよということで。今、随分、生徒の数も落ち着いてきて、20人切りそうだったのが20人は必ず超えるような募集になって非常に安心してるんですけど。
永留教育長	時間がかなり経過をしましたので、ちょっとここで休憩をとりたいと思います。あの時計で3時半まで休憩をとります。
	(休憩)
永留教育長	じゃあ開始します。

	点検・評価報告書に関するご意見はありませんでしょうか。
会場	ありません。
永留教育長	<p>じゃあ、ほかはないようですから、報告第11号「教育委員会の点検・評価報告書について」の報告は終了いたします。</p> <p>続きまして、日程第7、報告第12号「要保護・準要保護児童生徒の認定取消について」を議題とします。事務局から報告をお願いします。</p>
吉野課長	<p>教育委員会会議資料の方の資料12ページ、13ページをご覧ください。</p> <p>なお、校種別、学校別の児童生徒の氏名等については、別に今日お配りしている資料の方をご参照ください。この資料については、この後また終了後に回収をいたしますことをご了承ください。</p> <p>今回は、令和2年5月1日現在の認定者数と令和2年8月1日現在の認定の取り消しを行った要保護及び準要保護の人数を報告します。</p> <p>小学校の準要保護認定者は、5月1日現在の認定者が154名でしたが、8月1日までに2名の認定の取り消しを行いましたので、合計152名となっております。</p> <p>13ページの中学校の準要保護認定者は、5月1日現在の認定者が84名でしたが、8月1日までに1名の認定取消を行いましたので合計83名となっております。</p> <p>次に、要保護につきましては、小学校の要保護認定者は5月1日現在から変更がなく、8月1日現在の認定者は10名となっております。中学校の要保護認定者についても5月1日現在から変更がなく、8月1日現在の認定者は9名となっております。</p> <p>なお、要保護・準要保護ともに新規の認定はありませんでした。以上です。</p>
永留教育長	<p>報告が終わりましたが、この件に関しまして質疑等はありませんでしょうか。</p> <p>ないようですから、報告第12号「要保護及び準要保護児童生徒の認定取消について」の報告は終了いたします。</p> <p>続きまして、これから日程第8「その他」の事項に移ります。</p> <p>まず初めに、各課の事業予定を報告させていただきたいと思えます。お手元に9月分の事業予定表を配付しておりますので、ご覧ください。教育総務課から順に主な内容について報告をお願いします。</p>

八島次長	<p>それでは、教育総務課関係の事業予定を説明させていただきます。</p> <p>まず、4日金曜日の夜に佐須中学校の統合説明会を行います。令和4年度、5年度が複式になる見込みですので、一応それも踏まえて説明会を開催いたします。それから、8日の火曜日から市議会の定例会が開催されます。18日までの予定となっております。それから、11日金曜日が、総務文教常任委員会が開催されます。関係の審査があります。それから、24日木曜日が教育委員会会議となっております。まだ確定ではありませんが、総合教育会議も、その日にちになる可能性もあります。そういうところです。</p> <p>月間業務としましては、議会に対する答弁書等の対応とか、そういうものがございます。</p> <p>以上です。</p>
永留教育長	次、学校教育課、お願いします。
吉野課長	<p>学校教育課関係です。</p> <p>9月1日が2学期の始業式になります。学校の方は、授業日は8月24日、来週の月曜日から再開しますが、始業式は1日になります。3日、定例校長会です。7日、定例教頭会、13日はそこに示している学校で運動会があります。16日、乙宮小学校で研究発表に関する中間指導が行われます。20日、そこに示しているところで運動会があります。27日日曜日、これもそこに示しているところで運動会があります。29日に、教育長、校長の合同研修会が峰公民館で行われます。同日ですが、特別支援連携協議会の実務者全体会が行われる予定となっております。</p> <p>学校教育課からは以上です。</p>
永留教育長	生涯学習課、お願いします。
庄司課長	<p>生涯学習課の事業予定について説明します。</p> <p>9月26日に対馬市スポーツ推進委員研修会を峰町を会場に開催いたします。</p> <p>月間業務といたしまして、各施設の管理業務に努めてまいりたいと思います。</p> <p>生涯学習課は以上です。</p>
永留教育長	文化財課、お願いします。
川辺課長	文化財課の方は、先ほど教育長からも報告がありましたように、各会議が島外に出ることが多い関係もありまして、また台風とかでリモートとかになってきています。昨日も赤米サミット、本来でしたら種

	<p>子島に行く予定だったんですけど、リモートによる赤米サミットを開催したところです。また、先日台風で延期されていた対馬藩関連遺産群も、今月末31日にリモート会議があるような感じですね。</p> <p>今、いろんな行事を調整しては、先に流れたり消えたりしていつている最中です。なので9月は、今のところ何もはっきりと決まったことはありませんが、今から台風シーズンにもなりますので、各文化財とかの巡視や点検をメインに進めていきたいと思っています。10月に予定しています越高の委員会に向けての越高遺跡の対応とかにも力を入れていきたいと思っています。</p> <p>以上です。</p>
永留教育長	<p>事業予定の報告が終わりましたが、このことに関して質疑等はありませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、本日の会議はこれで終了いたしますが、次回の会議日程の件で事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>次回第8回の教育委員会会議ですけど、9月24日木曜日で行いたいと思います。よろしくお願いします。</p>
永留教育長	<p>それでは、次回の会議を9月24日木曜日に開催をいたします。後日、事務局から改めて詳細については通知をいたします。</p> <p>これで本日の日程は全部終了しましたので会議を閉じます。以上をもちまして、令和2年第7回対馬市教育委員会会議を閉会します。お疲れさまでした。</p>

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

委 員 (自署)

委 員 (自署)